

大分岡病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	術前心臓 CT 解析による pre-fabricated loop を用いた僧帽弁形成術
当院の研究責任者 (所属)	迫 秀則 (心臓血管外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	僧帽弁形成術において、使用する人工腱索の長さ決定は微妙で、調整に難渋することも多い。もし事前にこの長さを決定することができれば、手術時間の短縮になり極めて有用である。最近のCTは解像度が極めて高いので、人工腱索の長さを術前に測定して予め準備し手術時に用いることができる可能性が高い。本法が有効かどうかの検証を開始したのでその早期結果を報告する。
調査データ 該当期間	2025 年からの完全内視鏡下僧帽弁形成術 6 例と 2024 年の同等手術症例 6 例
研究の方法 (使用する試料等)	これまで人工腱索の長さ決定は逆流テストで行ってきたが、2025 年になり pre-fabricated loop 法を開始し 6 例（P2 2 例、P3 1 例、P2-3 1 例、A3-C2-P3 2 例）に用いた。その結果を以前の症例と比較した。形成範囲の決定は主に術前 TEE で測定し、形成範囲に必要な loop の数を決定した。術前 CT の拡張期像で loop を縫着する乳頭筋部位を決定し（収縮期像では乳頭筋の判別が難しい）、loop の長さは収縮期像で形成部位周囲もしくは対側の腱索の長さを参考にして決定した。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：(代表) 097-522-3131 担当者：心臓血管外科 迫 秀則
備考	研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。